



大阪府立山本高等学校 広報誌

FROM 山高

受け継がれる創立86の伝統 山高DNA

第5号 平成25年12月 8日発行

山高入試情報!



今年度の入試に関して、募集人数が発表されました。山本高校は昨年度より40名多い320名の募集になりました。また、「チャレンジする機会が2倍になった」といわれる前期入試も2年目になります。中学生も皆さんはこれをポジティブにとらえ、進路実現に生かしてください。山本高校の入試は次のようになっています。前期も後期も「ボーダーゾーンでは調査書重視」です。中学校の授業を大切にして、実力をつけてください。寒くなり風邪を引きやすい季節ですので、体調管理に気をつけて頑張ってください。皆さん一人ひとりが進路希望を実現できるように祈っています。

前期入学者選抜 募集人員 80名

出願期間 2/14 (金)、17 (月)

学力検査 2/20 (木) 合格者発表 2/27 (木)

◆ボーダーゾーン内の選抜基準 450点満点 (学検 150点+調査書 300点)

学力検査の全教科の成績の合計+調査書の全教科の評定★の合計の2倍

学力検査 国・数・英 各50点=150点

調査書 (国・数・英 各10点+社・理・音・美・保体・技家 各20点)×2=300点満点



後期入学者選抜 募集人員 240名

出願期間 3/5 (水)、6 (木)

学力検査 3/12 (水) 合格者発表 3/19 (水)

◆学力検査の成績および調査書の評定にかかる倍率のタイプ

I型 学力検査 1.2倍 調査書 0.8倍

◆ボーダーゾーン内の選抜基準 350点満点

調査書中の前評価の評定★の合計

調査書 国・社・数・理・英 各30点、音・美・保体・技家 各50点

山高は
授業をがんばり、
部活・学校行事に
がんばる中学生を
求めています!

山高には、
がんばる皆さんを
応援し、伸ばす「秘密」が
たくさんあります!

文化行事 11/15 (金) 大阪市音楽団演奏会 本校吹奏楽部が共演



演奏会でのオープニング曲で吹奏楽部が共演しました。

参加した吹奏楽部員の感想文です。

十一月、山本高校では文化行事として、大阪市音楽団というプロの吹奏楽団の演奏を聴きに行きました。そして、私が所属している吹奏楽部が最初の一曲を合同で演奏する機会を頂くことになり、人生で一度きりの体験をすることになりました。今、吹奏楽部は個々の技術を高めようとしています。その時期にこの話を頂いたのです。私は「団員さんの技術を間近で見てそれを自分の演奏に活かしたい」と決意し、どんな技術が見られるかと当日まで興奮がとまりませんでした。

演奏会当日は緊張と興奮が混ざった複雑な感情になりました。リハーサルで舞台上がった時は頭が真っ白になりましたが、こんな機会は今日しかない、思い切って同じ楽器の団員さんに話しかけました。すると、とても明るく接していただき、楽器の事についてたくさん話げできました。するとそれまでの緊張が早く演奏したいという意欲に変わっていました。

そして、リハーサルでの演奏。ホールに曲の第一音が響いた瞬間、その迫力に驚きました。そこから音が風船のようにふくらんで大きくなったり、誰かが行進しているかのようにリズムにのったりと、音でこんなに表現できるものなのかと感動しました。そして、何よりも、音楽を心から楽しんでいることが一番の魅力でした。私は鍵盤楽器を演奏したのですが、さっきまで話していた団員の方の背中が本当に楽しそうである歌っているかのような様子でした。私自身もそんな雰囲気の中で、心から楽しく演奏できました。リハーサルはあっという間に終わり、山高生全員が見守る中で本番を迎えました。曲が終わった時の拍手がとても気持ち良かったです。

この体験を通じて、私は技術の事だけではなく音の表現にあんなに幅があることを知りました。そして当たり前のことだけれど、心から楽しんで演奏することが本当に大切なのだと強く思いました。あの舞台上で感じたことを忘れずに、明日からの練習により一層励みたいです。

大阪市立英田中学校出身 川瀬 さくら(1年パーカッション担当)

共演の話をご顧問の先生から聞いたのは、文化祭や敬老会などの秋の行事が終わり、部としては少し時間に余裕のある時期でした。アンサンブルコンテストに出場するパートはそれに向けての準備を始めたころでしたが、私たちのパート(トランペットパート)は、コンテストには出場しないことを決めていましたので、基礎の基礎から練習をやり直して少しでも上達しようとしていたところでした。そんな中での話だったので、正直言って、私たちのレベルは基礎固めという段階なのに、プロの方と同じステージに立っているのだろうか、と思いました。しかし、プロの市音(大阪市音楽団のこと)の方と演奏ができるということは、とても誇らしく嬉しいことです。私は、2年の皆にこのことを相談しました。皆も私と同じように悩みましたが、「このようなことはもう無いかも知れない、せつかくの機会だから皆で一生懸命頑張ろう」ということにまとまりました。私も、皆と力を合わせてこれを乗り切ろうと決意を新たにしました。とは言え、内心は練習時間も少ないのできちんと仕上げる事ができるのか・・・プロの方と演奏することへの楽しみよりも、不安の方が大きかったです。

演奏会の当日、直前にリハーサルがありました。予定では15分をもらっていたのですが、予定の時間より遅れていたのので、全体を通すだけの5分間ぐらいになってしまいました。でも、私にとってこの5分間はとても貴重なものでした。チューニングをただで私たちとプロの方との違いを思い知りました。音量はもちろんですが、音の響きや一体感などが違うのです。私たちはいつも小さい場所で小さい音を吹いていたのだと改めて思いました。リハーサルではプロの方に挟まれて吹くのですから最初は当然緊張していました。けれど、あの市音の方の隣で演奏しているのだと思うとビクビクした気持ちが嬉しさに変わり、楽しい気持ちになりました。リハーサルの後、いろいろアドバイスをしてくださいました。周囲を見渡すと他のパートの皆も同じように演奏や楽器についてのアドバイスを受けていました。短い時間でしたが本当にいい勉強をさせていただきました。

本番はあっという間に終わりました。でも、心から演奏を楽しめましたし、多くを学びました。市音の皆さんと演奏できたことは、私にとって素晴らしい思い出になりました。今日の経験をこれからの部活動に活かして、もっともっと上手になりたいと思いました。

八尾市立八尾中学校出身 長尾 海歩(2年 副部長 トランペット担当)

宮古島 修学旅行

2年生（67回生）は、10月30日（水）から11月2日（土）まで3泊4日の日程で、沖縄・宮古島に修学旅行に行きました。



民泊のお家で作ったサーターアンダーギー

【初日】は宮古島の民家に宿泊、村をあげての歓迎を受けました。各家庭で農業体験や文化体験をしました。離村式では、お世話になったご家族との別れを惜しまました。



↑ 民泊 楽しい夕食

《生徒の一言コメント》・宿泊先のお父さんお母さんがすごく優しく接してくれた。・サトウキビ畑で作業したりサトウキビを食べたりできた。・ゴーヤチャンプルを初めて食べた。・子牛が生まれるところに立ち会えて感激した。・料理がおいしいのんびりできた。・腰が痛くなったが、みんなでした農業体験はとても楽しかった。・三線体験はとても良かった。はまってしまった！・沖縄の料理をいろいろいただき面白かった。

【2日目】全員がホテルに宿泊。夜はクラスレクで盛り上がりました。

【3日目】全員が体験メニューで、シュノーケリング、シーカヤック、シーサー作り、展望船シースカイ乗船、貝細工などの沖縄ならではの体験をしました。夜は体育館で全体レクを行いました。



シーサー（生徒作）

《生徒の一言コメント》

・海がとてもきれいで感動した。・シュノーケリングでウミガメやクマノミを見ることができて感激した。・途中雨が降ったりしたが、普段体験できないことができたので満足でした。



【最終日】名勝「東平安名崎」を訪れたのち、宮古島をあとにして、那覇へ。

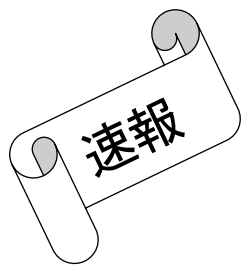
国際通りを散策しお土産を買ったりして、沖縄での最後のひとときを友だちと楽しみました。そして、全員大きな怪我も事故もなく、元気に大阪に帰ってきました。天候には恵まれませんでしたでしたが、楽しく充実した修学旅行でした。



↑ シーカヤック

シュノーケリング浮かぶ練習です →





H26年度入試中間報告

(公募制推薦 前半 12月6日現在までの状況)

大学・短大の入試シーズンが始まりました。今年も3年生の頑張りで、朗報がもたらされています！

今後12月中旬にかけて、公募制推薦入試の後半の結果がつつぎつぎ届きます。

今回は途中経過ですが、その一部をお知らせします。(人数は現役生の延べ人数です)

大学 関西大学(1)、近畿大学(前半)(16)、甲南大学(1)、武庫川女子大学(8)、関西外国語大学(8)、京都外国語大学(1)、畿央大学(3)、大阪経済大学(13)、千里金蘭大学(看護1)大阪電気通信大学(2)、摂南大学(22)、桃山学院大学(3)、関西医療大学(1)、関西福祉科学大学(6)、

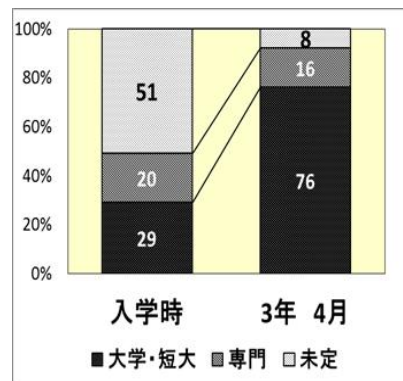
短期大学 武庫川女子大学短大部(5)、大阪キリスト教短期大学(2)、関西外国語大学短大部(4)、常磐会短期大学(3)白鳳短期大学(2)

看護専門学校 大阪医療センター付属看護専門学校(1)、大阪南医療センター付属看護専門学校(2)

これからが大学入試の本番です。年明けのセンター試験を皮切りに、私大一般入試、国公立入試と続きます。きっと良い結果を出してくれるでしょう。

山本高校の進路サポート体制

入学時の進路意識調査では約50%の生徒の進路希望は未定ですが、3年の4月には75%以上の者が大学・短大への進学を希望するようになります。山本高校での進路実現のサポート体制とさまざまな学びを通じて進学への意識が高まるようです



- ◆ スタディサポート(全学年)を年2回実施し、学力と学習習慣をチェックします。
- ◆ PTA主催 休日講習(3年希望者対象外部講師)で校内講習を補っています。
- ◆ 1年生から進路について考える機会を数多く作り、継続的できめ細かな進路指導を行っています。
- ◆ 進路講演会や大学見学会の機会を通じて、モチベーションアップをはかります。
- ◆ 進路指導室では担当の先生が常駐しているので、いつでも、誰でも進路の相談ができます。

お問い合わせはこちらへ

普段の学校の様子はHPの「FROM山高」で紹介しています。



山本高等学校

☎ 072-999-0552 fax 072-999-4374

☎581-0831 八尾市山本町北1丁目1番44号

HP アドレス <http://yamamoto-shs.ed.jp>

